

令和5年度 学校関係者評価書

学校名	九度山町立九度山中学校
学校評議員名	浦 美幸、大西 喜三郎、栗生 恵美、藤井 あすか、山下 栄亮 (敬称略、50音順)
学校関係者評価実施日	評価実施日 令和6年2月13日

	項 目	内 容
1	教育目標、教育課程、教科指導に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年に引き続き行事の精選に努め、授業時間を十分に確保し、計画通り教科指導を実施してきたことにより、生徒の学校評価アンケートの後期における設問2番3番4番のポイントアップに繋がって来ているものと思われます。今後も十分な授業時間の確保と教科指導の工夫改善に取り組んでいってほしいと思います。 ・ 保護者に対しての学校理解を深めてもらう取り組みをこれからも工夫改善し、開かれた学校づくりに今以上に取り組んでいってください。 ・ まだコロナが収束したわけではないですが、今年度は活動や行動の制限がなくなり、生徒たちが楽しみにしている学校行事や各学年の体験学習が実施できてよかったと思います。今後も色々な体験的な学習を通して、今まで以上に人に対する思いやりや優しい気持ちを持ってもらいたいと願っています。 ・ コロナ禍は治まってきたようですが、それでも何かあるとその影響は大きいと感じます。 ・ 保護者アンケートでは、わからないという回答がある程度あります。保護者側からの認識不足に思いますが、学校は粘り強く発信を続けていってほしいと思います。 ・ 生徒評価の結果から、生徒自身が満足している結果となっているので、学校の取り組みが素晴らしいのだと思いました。 ・ 保護者アンケートの中で「わからない」との回答があるのは、学校と保護者が直接対話する場が少ないからではないかと感じました。 ・ コロナ禍における活動や行動の制限がなくなり、実習や体験学習を実施できたことで、精神的な成長にもつながり、良かったと思います。
2	「基礎・基本の定着と主体的・対話的な学び」に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしても教師指導型の授業になりがちな教科指導からの脱却をはかり、生徒が主体的に活動する授業の在り方について研究を行い活動されてきていることはとても素晴らしいと思います。 ・ 家庭学習の習慣化をはかる取り組みとして、6限後の九中タイムにおいて生徒自らがその日の授業を振り返り、家庭学習の計画を立てる時間に当てているのはとても素晴らしく、生徒の主体的な学びに繋がっていくと思います。 ・ 本年度の研究発表会に参観させていただきました。デジタル教科書を活

	<p>用する中でグループに分かれて授業をすすめていました。自分の考えを言ったり、友だちに伝え対話したりする姿が印象に残っています。生徒アンケートで「自分の考えを述べるのが得意」と回答したのが86.1%と達成の指標より上回る結果が出ました。今後も他の教科のデジタル教材の活用を期待したいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒間の学習の格差を考えると、どれだけ少人数であっても、みんなに満足楽しみを感じてもらえる授業は難しいと思います。それでも先生方が熱心に取り組んでくださることをありがたく感じます。デジタル教科書に関しては、先進的にやっておられることを感じますが、先生生徒両者が使いこなしていることを確認しながら進めていただければと思います。 ・九中タイムの有効活用は今後も継続してほしい。 ・数学以外の授業でもTT指導をして頂くという事は可能なのでしょうか。 ・数学だけでなく、英語の授業でもTT指導や習熟度別の学習に対応して頂けるよう、是非改善をお願いしたいです。
3	<p>「豊かな心とたくましい心身の育成」に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の一員として今後自分はどうかあるべきなのか等、自分の在り方を考え合う時間を増やし、多様性の社会に対応すべく今以上に道徳的心情を耕す取り組みを続けていってほしいと思います。また、今後も対話的な学習形態を取り入れた道徳の授業を行い、学習内容を深めていってください。 ・生徒にとって学校はどんな場所なのか、人的環境（友達や先生）や安心して生活できる環境なのかが一番大切なことだと思います。アンケートで「学校へ行くのが楽しい」と答えた生徒が97.9%と昨年より上がっていたので、安心しましたし嬉しくも思います。今後も生徒一人ひとりの様子を見守ってほしいと思います。 ・全員が「学校が楽しい」が理想ですが、なかなかそうはいかないのが現実です。道徳の授業等を通じて心情教育に注力されていますが、いじめ・不登校など、家庭・関係機関と共にこれからも問題解決を図っていただきたいと思います。 ・ほぼすべての生徒が「学校へ行くのが楽しい」と回答している事は本当に素晴らしい事だと思います。 ・運動能力調査については、中学生ともなると外に出て遊ぶ事も少なくなりますし、体育の授業や部活動だけの運動では中々補えないのかなと思いました。 ・全員が「学校へ行くのが楽しい」ことが理想ですが、なかなか難しいことだと思います。学校生活や道徳などの学習を通して、他者も自分も大切に、互いを思い合える気持ちを育んでもらえたらと思います。

4	「未来の創り手となる生徒の育成」に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な場面において生徒に主体性を持たせた活動の場を設定し、体験的な活動を行って行くことによって将来の自分の在り方について考える場となることと思います。 ・今後もキャリア教育指導の今以上の工夫改善に取り組み、生徒一人一人が将来の夢を持ち自主的・主体的に活動していけるようご指導お願いします。 ・中学生生活3年間を通して、体験学習の取り組みは将来の自分にとってもプラスになる事だと思います。また、ふるさと教育の中で地域の方々と関わる機会が増えると、中学校の事を地域の人々により知ってもらえると思いますので、今後も続けてもらいたいです。 ・地域学習・職場体験等、未来を考える上では素晴らしいプログラムだと思います。生徒一人一人が自主的に考え、夢に向かって進めるように指導していただけるようお願いいたします。 ・職場体験やボランティア活動といった体験を通して、今後社会に出たときに必要な事を学べてとても良いと思います。 ・職場体験や修学旅行、校外学習など、様々な体験を通して学び成長することができる活動を行って下さりありがとうございます。また、生徒主体の活動は、自分たちで考え、話し合い、責任感を持つことなど、自立に向けて大切に、良い経験だと思います。
5	その他の教育活動に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を要する生徒が増えてきている昨今、共成社会の形成にむけたインクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の推進をより進めていただきたい。 ・学校行事「運動会」を観覧させてもらいましたが、どの生徒も演技や競技に一生懸命取り組む姿がとても印象的で嬉しく思いました。学校を長期で休んでいる生徒がいると聞いていますが、みんなが楽しんで学校生活を送れることを願っています。 ・運営協議会では話合いの時間は十分ではないのだろうと思います。また、以前にはなかったような課題もあると思います。中学生はまだまだ子供ですから、大人である先生方との関わりが非常に重要です。その大人に余裕がないと生徒との関わりが難しくなるように思います。先生方の体力的、時間的、そして精神的な余裕を持てるように、しなければならぬことは多々ありますが、事柄をうまく取捨選択してバランスを取っていただきますようお願いいたします。 ・登校できている生徒の9割が「学校へ行くのが楽しい」と回答しているにも関わらず、不登校の生徒がいるという事がとても悲しく感じます。不登校生徒を0にするのはとても難しいと思います。でも全ての子が楽しく登校できるようになったら嬉しいです。 ・中学生になって難しい時期ということもあり、学校を休みがちな話も耳にします。学校、保護者、スクールカウンセラー等連携して、一人一人が前向きに過ごせるよう、今後もよろしくお願いします。